



金沢市
鳴和中学校
Naruwa Junior High School

2月全校集会

除雪



寒くても
心は温かく

皆さんの気持ち
に感謝！

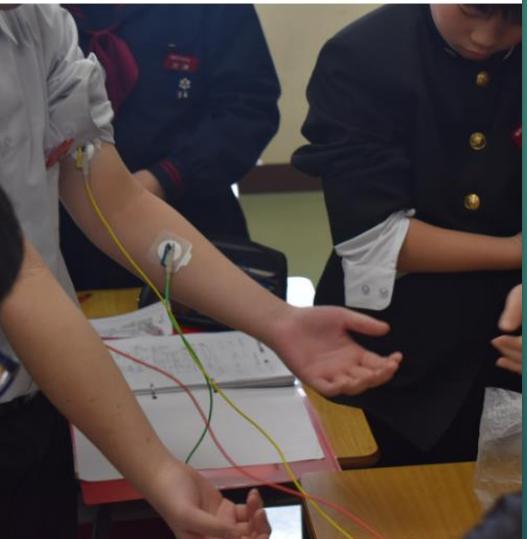
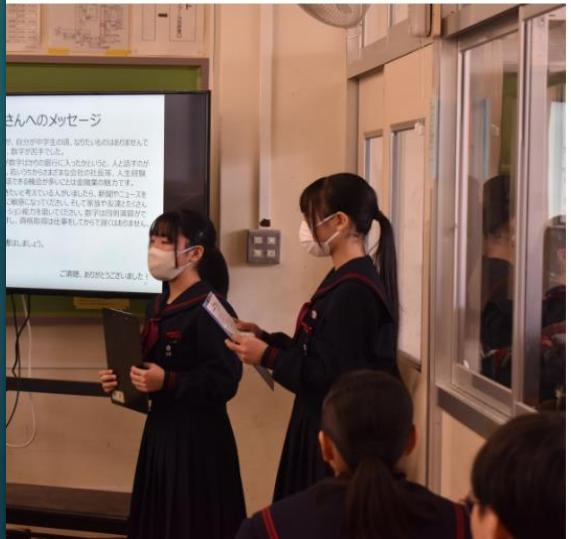
フィナーレに向けて

- ・最後の最後まで
- ・周囲への気遣い
- ・感謝の気持ちを忘れず



生き方を学ぶ会

立志式



立志式 誓いのことばより

今の私たちにできることは、毎日の学習や生活を通じて自身を成長させるよう努力しながら、将来どんな大人になりたいかを真剣に考えること

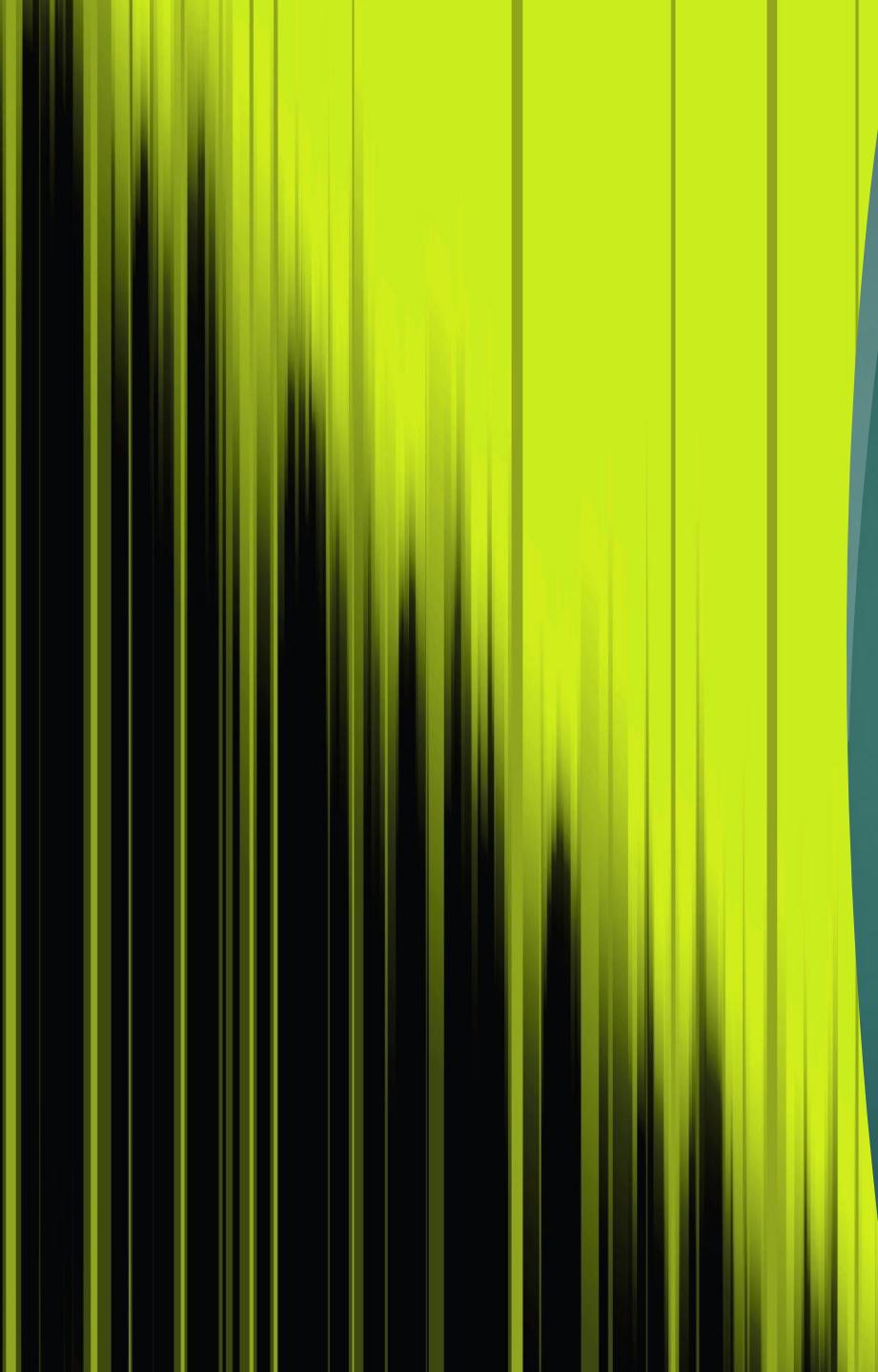
人から信頼される大人になりたいです。自分のためだけでなく、誰かのことを思って行動できる、そんなあたたかな心を持った人が、私の理想とする大人です

「生き方を学ぶ会」「立志式」

これからを考える機会

ほんのちょっとの好奇心で
世界は広がる

なりたい自分をイメージ
するとそうなれる



SNS上における暴力行為等の
動画の投稿・拡散



暴力行為・いじめは決して許されるものではない

暴行罪や傷害罪等の犯罪行為に該当し得ることがある

SNSの危険性から自分、他者を守る 3つの合言葉

会わない

載せない

送らない

個人情報の流出、誹謗中傷は人権侵害

言葉とは？

言葉について考える

国語3 光村図書 「それでも、言葉を」 鷺田 清一 より一部抜粋

私たちは、言葉が音として届けば、あるいは文字として送られれば、言葉が伝わったかのような錯覚に陥りやすい。「わかり合う」「通じ合う」「触れ合う」、そんな安易な言葉の洪水が、わかってくれて当然という甘えを生み、さらに言葉を通じさせにくくさせている。理解してもらえないときにはその反動で、「キレる」「ムカつく」といった荒々しい言葉が投げつけられる。

言葉について考える

国語3 光村図書 「それでも、言葉を」鷺田 清一 より一部抜粋

しかし、言葉は単なるメッセージの媒体なのではない。言葉には言いたいこと（言葉の意味）だけでなく、言いたいという気持ちも含まれている。それは「**言葉の肌理【きめ】**」となって現れる。

肌理:モノや肌の細かい模様。また、その模様によって生じるなめらかさ
物事に対する行き届いた気配り

言葉について考える

国語3 光村図書 「それでも、言葉を」鷺田 清一 より一部抜粋

対話の場でふと何かが**腑に落ちる**とき、私たちは語りの**整合性**や**合理的根拠**によってではなく、むしろ、その**感触**や**肌理**、**口調**や**声**によって、相手が本当に言いたい何かに気づかされることが多い。言葉の背景にある**体温**や**手応え**に、どれだけ**想像力**を向けられるかなのだろう。

腑に落ちる:ある事柄や理由が納得できる状態になること

整合性:物事に矛盾がなく整っていること

合理的根拠:その判断や行動が「理にかなっている」「無駄がない」「効果的である」こと

後期学校評価アンケート【生徒】より（ ）内は前期

まわりの人を思いやるやさしい行動をとっている（悪口、嫌がらせ、私物へのいやがらせなど、人の気持ちを傷つける行為をしていない）

学年	A	B	C	D
1年	<u>48%(58%)</u>	<u>45%(37%)</u>	<u>5%(4%)</u>	<u>2%(1%)</u>
2年	<u>64%(63%)</u>	<u>31%(35%)</u>	<u>4%(2%)</u>	<u>1%(0%)</u>
3年	<u>69%(65%)</u>	<u>29%(34%)</u>	<u>2%(1%)</u>	<u>0%(0%)</u>

A:あてはまる B:ほぼあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない

私たちが目指すもの

自他共榮

～自分も仲間も大切に～

みんなが安全に安心して学べる場
生徒も教職員も幸せな学校